

## 2021年7月オンライン研修・講習会（2021年2月分再配信）のお知らせ

一般社団法人 日本音楽療法学会  
研修・講習委員会  
オンライン企画特別委員会

2021年7月オンライン研修・講習会では、2021年2月に配信した動画3本を再配信いたします。

◎配信期間：2021年7月1日（木）12時～8月20日（金）23時59分の1か月間半

※動画の視聴申込は、**2021年7月1日（木）12時**よりマイページにて行ってください。

※注意 今回の再配信動画は2021年2月4日（木）～17日（水）に配信した分の動画です。

**2021年2月4日～17日の間に申込みおよび視聴された方は、今回申込みできません。**

### ◆2021年2月オンライン研修・講習会の配信内容

#### 国際交流委員会企画【講演1・2】

※お申込みは「講演1」「講演2」は別途になります。

受講される方は、両方とも受講されることをお勧めします。

タイトル（講演1）	「認知症者用音楽評価尺度（Music in Dementia Assessment Scales: MiDAS）とは何か: その背景と有用性, そして今後」その1
タイトル（講演2）	「認知症者用音楽評価尺度（Music in Dementia Assessment Scales: MiDAS）とは何か: その背景と有用性, そして今後」その2
講師名	英国ノッティンガム大学医学部精神科・応用心理学科講座 上級研究員 Orii McDermott 博士（オリー・マクダーモット博士）
主な内容紹介	Music in Dementia Assessment Scales (MiDAS; <a href="https://www.musictherapy.aau.dk/midas/">https://www.musictherapy.aau.dk/midas/</a> ) は、中等度または重度の認知症者の観察可能な音楽的関与を評価するために開発されたものです。 その後2013年には、心理測定的な信頼性が検証されました。 現在、MiDASは、デンマーク語、ノルウェー語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、アイスランド語に翻訳されています。講義では、アウトカム尺度としてのMiDASの開発や評価について解説し、現在の臨床実践へのMiDASの活用、および今後の活用に関する研究や課題点についてお話しします。また、私や仲間の取り組みから導かれた、より広範囲にわたる認知症の心理社会的な研究におけるアウトカム尺度の活用について論じます。

プロフィール	<p>ノッティンガム大学医学部精神応用心理学部の上級研究員。認知症の心理社会的介入研究を専門とし、EU 資金による早期認知症研究者向けのトレーニングネットワーク DISTINCT (<a href="https://www.dementiadistinct.com">https://www.dementiadistinct.com</a>) のプロジェクトマネージャー。 英国の国立保健サービス (NHS) ファウンデーショントラストにて、ロンドン中心部および北西部で音楽療法を実践。Nordic Journal of Music Therapy、Journal of Music Therapy、Music&amp;Science、Aging &amp; Mental Health の編集委員。</p>
--------	--

## 研修・講習委員会企画 【実践研修】

タイトル	<p>実践研修：「ある重症心身障害者の 10 年間の記録から学ぶ ～目的論を中心テーマとして～」</p>
講師名	<p>たかやま音楽療法研究所 主宰 高山 仁 (タカヤマ ヒトシ)</p>
主な内容紹介	<p>音楽療法は「音楽」のさまざまな機能を用いて、対象者の障害や機能の維持改善、また QOL の向上を目ざして積極的に働きかけるため、実践の目的は明確に示される。今回の研修は「研究発表」ではなく、実践報告として、高山が「何を目的に」実践したのかを検討するが、時にその目的は“願い”であり、また時には具体的なものである。「目的論」を中心テーマとし、重症心身障害者の 10 年間の映像記録から「その目的・目標」を皆様とともに観察し探り学び、音楽療法の専門性にかかわる重要な問題に立ち向かいたいと思う。なお、今回、対象者の保護者より特別の承諾をいただき、動画を開示するが、視聴者には「個人情報保護法」の遵守が義務づけられません。</p>
プロフィール	<p>国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業、宮城教育大学大学院教育研究科障害児教育専修修了。教育学修士。現職、たかやま音楽療法研究所主宰、宮城教育大学非常勤講師、宮城県立支援学校外部専門講師。日本音楽療法学会常任理事、同学会研修・講習委員会委員長。 著作、「みんなで音楽」音楽之友社 他</p>

※講座内容についてのご質問は受け付けておりません。